



卒業式の練習が進んでいます。

式歌(いのちの歌、旅立ちの日に)を合唱したり、入退場の練習をしたり、卒業証書授与の練習をしたり、6年間の感謝の気持ちや未来への希望の言葉を語ったりと、6年生は、卒業式に向けた練習を積み重ねています。中でも2曲の式歌は、卒業式をより感動的なものにするためには欠かせないものです。顔を上げ「卒業生一人ひとりが感謝の気持ちを伝えようと意識して歌う」だけでも合唱の歌声が変わってきます。

卒業式まで1週間足らずとなりました。一つの人生の節目として、感動的な思い出に残る卒業式となるように、残りの日々を、気持ちを込めて練習に取り組んでほしいと思います。

練習段階での一コマですが、卒業証書を授与される前、名前を呼ばれて返事をし、マイクの前で、将来の夢や6年間の思い出を語る場面があります。6年生一人ひとりがしっかりと自分の主張したいことを考え、前(未来)を向き、自信をもって大きな声で夢や希望を語っている姿に、私は小学校生活6年間の子どもたちの成長を感じ、とても感動し、うれしく思いました。



ボッチャ体験をしました。(2,3年生)

3月11日(月)2,3限目に、地域スポーツ推進指導員の方々2名にお越しいただき、2,3年生に対してボッチャを教えてくださいました。ボッチャはヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の肢体重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりしていかに近づけるかを競います。

この日は最初、敷かれた新聞紙にちょうど球が止まるように、1人2球ずつ3回の投げる練習をし、その後3人ずつのグループに分かれ、赤と青のボールを投げ合い、白いジャックボール(目標球)にどれだけチームのボールを近づけられるかで競い合いました。

競技中は、同じ色のボールを投げるチームが戦略的に相談をすることが可能で、次に誰が投げるのかを相談して決めていました。投げる直前に「がんばれー」とか、投げ終わった後に「惜しいー」とか声を出している子がいましたが、実はこういった行為はマナー違反となるようで、「静かにしてねー」と促されていました。

本校では、地域スポーツ推進指導員の方々の力をお借りし、4~6年生が、クラブ活動でもSSピンポンやボッチャの体験をしています。楽しんで体験する中で、障がいについて学び、人権意識の高揚がはかれればと思います。



令和6年度の週日課が変更になります。 詳細は裏面にて

本校は、小学校区が広いことや冬季の日没時刻等を考慮し、令和6年度の週日課を変更しました。主な変更点は以下のようになります。お知りおきください。

令和6年度下校時刻

	月	火	水	木	金			
1 年	14:35	14:35	14:05	14:35	14:05			
2 年	15:25							
3 年	14:35	15:25						
4 年	15:25			15:25	14:55			
5 年								
6 年								

- 【変更点】
- 朝の会と帰りの会を5分ずつ短縮し、下校が10分早くなります。
 - 金曜日は、今年度までの水曜日と同様に昼休みと掃除をなくします。
 - 木曜日は、3~6年生は6限授業になります。

(文責 北住 昌文)